POLA ORBIS HOLDINGS

第5期 株主通信

2010年1月1日～12月31日

2010
ベストコスメ 14冠

「喜ばれることに喜びを」

創業者・鈴木忍の手によって、妻のために作られた
ひとつのクリームが、ポーラ・オルビスグループの始まりでした。
以来80余年、私たちは女性の美しさと常に向き合い、
新しい時代の「美」を追求してまいりました。
日本初の「美白」化粧品、世界初の「ヒアルロン酸」配合、
100%「オイルカット」、「糖化」に着目したエイジングケア。
私たちはこれからもサイエンスに裏づけされた商品、サービスを提供し、
お客さま一人ひとりの期待に応えてまいります。

初のポーラ製品を
生み出した乳鉢

Contents

ごあいさつ・沿革 2
トップインタビュー 3
営業概況 7
ポーラ・オルビスグループ ブランド紹介 9
Topics 12
新製品情報 13
連結財務諸表 15
会社概要 17
株式の状況／株主メモ 18

ごあいさつ

株式会社ポーラ・オルビスホールディングスは、2010年12月10日、東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。これもひとえに株主の皆さま、関係各位の皆さまのご支援、ご高配の賜物と心より御礼申し上げます。

ここに、ポーラ・オルビスグループの第5期（2010年1月1日～12月31日）の株主通信をお届けいたします。ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **鈴木 郷史**

ポーラ・オルビスグループ沿革

ポーラ・オルビスグループは、「ポーラ」「オルビス」を中心とした、当社および連結子会社26社からなる企業グループです。

- 1929 POLA ポーラ創業
- 1976 ポーラ文化研究所設立
- 1984 ORBIS オルビス株式会社設立
- 1992 現・（株）pdc設立
- 1999 オルビス・ザ・ネット展開
- 2000 オルビス・ザ・ショップ展開
- 2001 オルビス海外事業進出
- 2005 ポーラ ザ ビューティ展開
- 2006 （株）フューチャーラボに資本参入
- 2007 POLA ORBIS HOLDINGS 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス設立 持株会社へと体制を移行
- 2008 （株）decencia設立 （株）ポーラファルマ設立 （株）オルラーヌジャポン設立
- 2010 （株）ACRO設立 東証一部上場

ポーラ・オルビスグループは、「世界中の人々に笑顔と感動をお届けしたい」を理念に、信頼され選ばれる企業グループへの革新を続けてまいります。

株式上場によって、「ポーラ」「オルビス」のブランド力を高め、さらなる飛躍を目指します。

当社は1929年のポーラ創業以来、化粧品事業を通じて、常に時代やお客さまのニーズに合った商品やサービスの提供に努めてまいりました。80年以上の歴史と事業を通じて、社名は認知されておりますが、それだけではなく、当社が近年取組んでまいりました様々な改革や事業についても知っていただきたいとの想いから、今回、株式上場に踏み切りました。

これを機に、ポーラ・オルビスグループが取扱う様々な商品やサービスの背景にある思想を皆さまに広く知っていただくことで、「ポーラ」「オルビス」というブランドの「認知の質」を高め、成長戦略の実効をより着実なものにしたいと考えております。

今後におきましては、株主の皆さまの力強いご支援をいただき、グループ一同、さらなる躍進に努めてまいります。

主力ブランドの成長により大幅増益を達成しました。

2010年12月期連結決算実績

売上高	165,253百万円	（前期比 1.8%増）
営業利益	12,270百万円	（ 同 26.4%増）
経常利益	12,247百万円	（ 同 18.1%増）
当期純利益	7,086百万円	（ 同 74.6%増）

リーマンショックによる経済環境の悪化によって、多くの企業において経営の舵取りは困難となり、その影響は未だ続いております。そうした中においても、「ポーラ」「オルビス」ブランドの売上の6割を占め、当社グループのドメインとする

スキンケア市場は堅調に推移しました（経済産業省 化粧品出荷統計によると、化粧品市場における2010年度の出荷額は、メークアップ商品が前年同期比0.1％減に対して、スキンケア商品は同4.5％増）。こうした背景に加え、当社グループの各社の取組みが功を奏したことによって、順調に業績回復を果たすことが出来ました。その結果、当社は売上高で前期比1.8％増、営業利益で26.4％増の増収増益を達成いたしました。

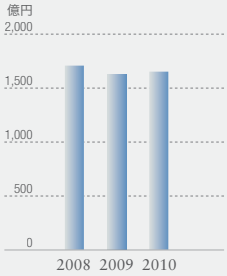
ポーラでは、私が社長就任以来、積極的に取組んでまいりましたエステ併設型店舗「ポーラ ザ ビューティ」が500店舗と順調に拡大し、新規店舗・既存店舗ともにプラス成長を遂げ、新たなお客さまの獲得にも大きく貢献しております。「ポーラ ザ ビューティ」という新しい業態の成功が、訪問販売事業の成長を牽引し、前年を上回る実績となりました。

加えて、2010年9月に発売したエイジングケアの最高峰シリーズ「B.A」がベストコスメ14冠を獲得するなど、多くのお客さまにご好評をいただき、売上は好調に推移しました。海外においても、ロシア、そして中国やタイといったアジア諸国における売上が前年を上回っております。

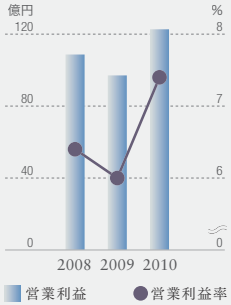
オルビスでは、お客さまにより長くご愛顧いただくためにスキンケアシリーズの改編やプロモーション活動を積極的に展開いたしました。さらに付加価値の高いフルフィルメントシステムに加え、近年成長が見込めるインターネットでの通信販売を強化したことにより、お客さまのリピート率が向上、年間ご購入金額も上昇し、着実に収益率が向上しております。

連結財務ハイライト

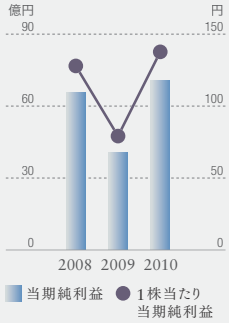
・売上高



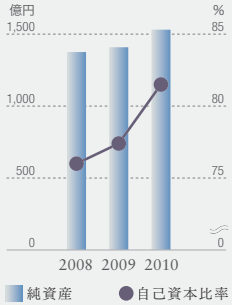
・営業利益
・営業利益率



・当期純利益
・1株当たり当期純利益



・純資産
・自己資本比率



海外市場においては、中国でのネット通販展開に向けた基盤を整え、また韓国・台湾市場における通信販売の安定収益確保に取組み、前年を上回る業績を達成しております。

長期ビジョンならびに2011～2013年の中期経営計画を策定しました。

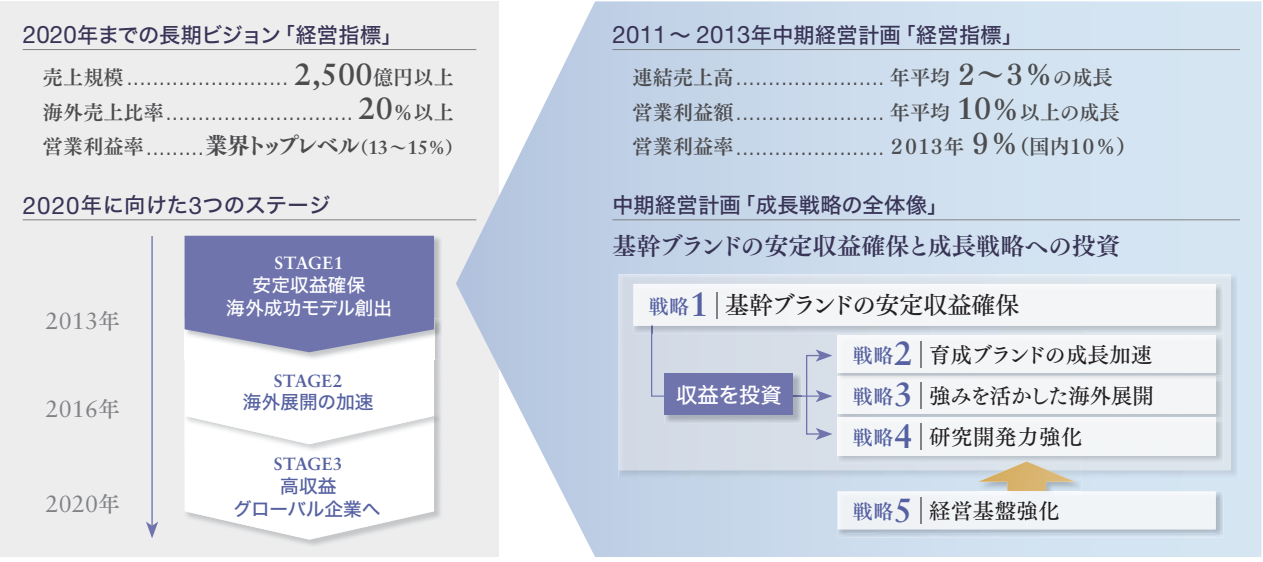
このたび、2020年までの長期ビジョンと、2011年から3ヵ年にわたる「中期経営計画」を策定しました。

長期ビジョンについては、「世界中の人々に笑顔と感動をお届けしたい」という理念のもと、「美と健康」のグローバル企業となることを基本方針として、以下にご紹介する具体的な経営指標を掲げております。

2011年からの3ヵ年中期経営計画においては、「市場以上の成長率（年平均2～3%）」「増収を伴う大幅増益（年平均10%以上）」「業界トップクラスの営業利益率（国内10%・海外含め9%）」を掲げております。「ポーラ」「オルビス」といった基幹ブランドで、国内では3年連続の増収増益を果たし、その収益を育成ブランドの成長加速、海外展開、研究開発力の強化へと投入することで、これらの達成に努めます。

徹底したお客さま第一主義に取組んでまいります。

当社は創業以来、自らつくり、自ら販売することを基本方針にしております。現在も、研究から販売まで独自の一貫体制を敷き、全ての社員の活動がお客さまにとっての価値に



つながることを目指しております。特に当社の強みは、美白とアンチエイジングの領域で世界的にもハイレベルな有効素材を独自に生み出す研究体制と、販売段階で得たお客さまの情報を本社が一括管理している点です。これにより、市場とお客さまの動向をタイムリーにとらえ、年齢・季節・地域などお客さまの様々な状況に合わせた商品・サービスの提供が可能となります。

お客さま第一主義を貫く体制を徹底しているのが当社の大きな特長であり、これらの強みをベースに、中期経営計画、長期ビジョンを達成していきたいと考えております。

ポーラ・オルビスグループのビジネスは、CSR活動と一体化しています。

当社のCSRの特長は、ビジネスと一体化した活動を展開していることです。日本が誇る伝統技術の生産者たちと提携し、ポーラの商品開発に活かす「3・9（サンキュー）プロジェクト」活動に取組み、地域産業の活性化に貢献しています。その一つとして、「B.A ザ クリーム 江戸切子」は、ポーラ最高品質のクリームと170余年の伝統と美の真髄「江戸切子」を融合させ、新たな価値を提案しています。

企業活動そのものに社会性を持ち、当社にかかわる全ての人とともに成長発展し、持続可能な未来を築いていくことで、社会に対して大きな責任を果たしていく。それがCSRの根本であると考え、当社は今後も幅広い活動を展開してまいります。

株主の皆さまへ

2010年12月期の配当は、1株につき期末配当として40円とさせていただきました。今後は安定配当40円を基本に、業績に応じて増配を実施したいと考えております。2011年12月期につきましては、中間配当制度を導入し、年間配当45円（中間配当20円、期末配当25円）の実施を予定しております。また、株主優待制度についても引き続き実施してまいります。

1株当たり配当金

2010年12月期		2011年12月期（予想）
年間配当 40円	→	年間配当 45円
期末 40円		中間 20円 ＋ 期末 25円

今後とも当社株式を長期保有していただけるよう、皆さまの期待に応えてまいります。株主・投資家の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2011年3月

代表取締役社長

鈴木郷史

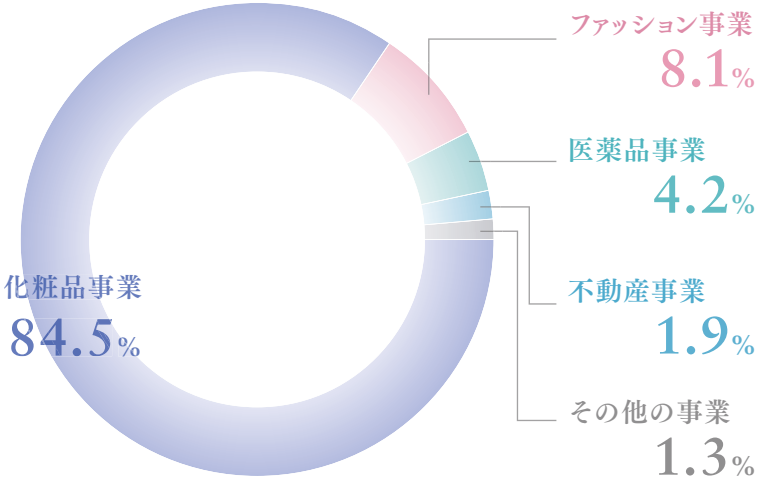
営業概況

グループ売上高（2010年12月期）

165,253百万円

前期比 1.8％増

厳しい市場環境が続きましたが、
様々な施策を実行したことにより、
増収増益を達成いたしました。



％は売上構成比

化粧品事業

売上高 139,660百万円

前期比 2.5％増

スキンケアを中心とした化粧品の
研究開発・製造・販売

- (株)ポーラ
- オルビス(株)
- (株)pdc
- (株)フューチャーラボ
- (株)オルラーヌジャポン
- (株)decencia
- (株)ACRO
- ポーラ化成工業(株)

(株) ポーラ

化粧品事業内構成比 61％

比較的堅調なスキンケア市場を背景に、リニューアル発売した「B.A」シリーズと「ホワイティシモ」シリーズが順調に推移しました。

オルビス(株)

34％

新たなお客さまによるご購入が順調な上、リニューアル発売した「クレンジングリキッド」と「クリア」シリーズが好調に推移しました。

育成ブランド

5％

(株)ACROの「THREE」シリーズの販売増加や各社の販売管理費などの効率化で売上高・営業利益ともに前期を上回る実績となりました。

ファッション事業

前期比
4.8％減

売上高 13,453百万円

ボディファッション・アパレル・宝飾品などの販売

（株）ポーラ　オルビス（株）

（株）ポーラ

秋冬物商品のカタログ販売が猛暑の影響により不調、また、催事（フェア）販売においても、厳しい状況となりました。

オルビス（株）

機能性を重視したボディウェアの通信販売が順調に推移いたしました。

医薬品事業

前期比
2.8％増

売上高　6,936百万円

皮膚科関連医薬品の研究開発・製造・販売

（株）ポーラファルマ　（株）科薬

新薬および新薬以外の医薬品ともに売上高が前期を上回ったことに加え、販売管理費の削減などにより、営業損益も大幅に改善されました。

不動産事業

前期比
3.5％減

売上高　3,102百万円

保有資産の有効活用としての賃貸事業

（株）ピーオーリアルエステート

オフィスビルの賃料値下がり基調の中、新規獲得およびフリーレント期間の短縮などに取組みましたが、前期を下回る業績となりました。
子育て支援型マンション「ブローテ大倉山」が9月に竣工開業いたしました。

その他の事業

前期比
4.3％増

売上高　2,101百万円

商業印刷物等の印刷業務、ビルメンテナンス事業など

（株）ピーオーメディアサービス
（株）ピーオーテクノサービス

ビルメンテナンス事業は、好調に推移しました。
印刷事業は、昨今の広告宣伝費削減の流れの影響を受け、受注減により苦戦しました。

ポーラ・オルビスグループ　ブランド紹介

ポーラ・オルビスグループでは、「世界中の人々に笑顔と感動をお届けしたい」
という理念のもと、お客さまのニーズに合ったものをご提供するため、
複数のブランドを展開しています。

POLA

訪問販売チャネルを中心に最先端技術を投下したハイプレステージ商品を展開

株式会社ポーラ

最高品質の商品を提供

ポーラは、エイジングケア・ホワイトニングケアを強みに、ハイプレステージ市場を中心に展開しています。肌老化の一因である「糖化」にいち早く着目した「B.A」シリーズは、2010年に、美容雑誌などでベストコスメとして14冠を受賞しました。

新しいポーラのかたち「ポーラ ザ ビューティ」

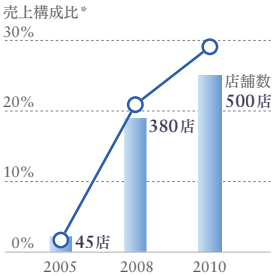
ポーラは、化粧品販売・カウンセリング・エステの3つの機能が融合した店舗「ポーラ ザ ビューティ（PB）」を2005年より展開開始。上質なサービスにより、お客さまに自分の肌と向き合う時間と、さらなる「美」を提案しています。

「ポーラ ザ ビューティ」で一人ひとりの美しさを

PBは全国に500店舗をかまえるまでに成長しました。このPBの成長とともに、新たに20代、30代のお客さまとの出会いも増えています。これからも、幅広い年齢層のお客さまにポーラを知っていただき、一人ひとりの「美しさ」を追求していきます。

*ポーラ訪問販売事業化粧品売上に対する構成比

「ポーラ ザ ビューティ」成長の推移



ポーラ・オルビスグループの3つの強み

1 研究開発力に裏付けられた「最上の品質」

2 ダイレクトマーケティングによる「お客さま視点」

3 82年の歴史で貫き続けた「美の追求」

ORBIS

「オイルカット」という独自の化粧品を満足度の高いサービスとともに提供

オルビス株式会社

「オイルカット」スキンケアで健やかな肌へ

オルビスは、100％「オイルカット」、無香料・無着色のスキンケア商品にこだわり、「肌が必要とするもの」「本当に良いもの」を追求しています。お肌に水分をしっかり保持することができるよう、肌本来の力を角層細胞レベルから高め、健やかな肌へと導きます。

「アフターサービス満足度ランキング1位」の優れたサービス

通信販売を中心に展開しているオルビスでは、「1品から送料無料」「30日間返品・交換無料」などの便利なサービスを採用しています。日経ビジネス誌のアフターサービス満足度ランキングで、2009年、2010年と2年連続1位（ネット通販部門）*を受賞しました。

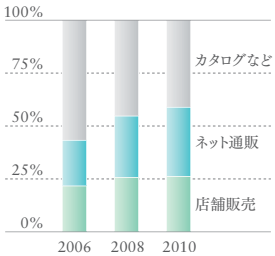
*出典：『日経ビジネス』2010年7月26日号

お客さまのニーズに合わせたお買い物を追求

近年のネット通販の広がりに合わせ、オルビスでは、お客さまに手軽に楽しんで商品を購入していただけるよう、ショッピングサイトを充実させています。ネット通販を利用するお客さまが増えることで、カタログの削減にもつながり、環境保全にも貢献しています。

*オルビス国内売上に対する占有比

ネット通販売上の占有比推移*



育成ブランド

pdc

株式会社pdc

お客さまに身近に感じていただける全国のドラッグストアやバラエティショップなどでの販売活動に注力しています。ロングセラーブランド「ピュア ナチュラル」を筆頭に、お客さまに愛され続ける商品を提供しています。

FUTURE LABO

株式会社フューチャーラボ

既成概念にとらわれない新しい発想で、独自の処方・素材を積極的に導入し、驚きのあるユニークな化粧品・サプリメントを開発しています。QVCやショップチャンネルに代表されるTV通販専門チャンネルを通じて、幅広い女性から支持を得ています。

ORLANE PARIS

株式会社オルラーヌジャポン

60年の歴史を持つフランスの高級エイジングケアブランド「オルラーヌ」を、日本国内で独占的に販売。百貨店への出店と、独自の施術が受けられるエステティックサロンを併設した直営店舗を展開しています。

decencia

株式会社decencia

乾燥性敏感肌に悩む女性にターゲットを絞り、独自の特許技術により開発した商品を、ネット通販で提供しています。

THREE

株式会社ACRO

百貨店・プレステージ市場に向けて、女性が今欲しいものを追求。ナチュラルなスキンケアと自由な発想のメークアイテムを扱う「THREE」を展開しています。

[Topics] Close-Up Woman

ウーマン・オブ・ザ・イヤー 2011 ヒットメーカー部門受賞（日経WOMAN）

絶対のこだわりを持って商品開発をしています。

女性の「美しくありたい」という気持ちに一番に応えることを使命に商品を開発しています。ポーラの看板ともいえるB.Aシリーズでは「かつてない実感」をキーワードに何百もの試作品を作り、使用した翌朝から肌の変化を実感していただけるようこだわりました。お客さまから、「肌がきれいになり、心も前向きになりました」「自信が持てるようになりました」など肌だけでなく、心の満足まで含め言っていただけることが私の喜びとなっています。

今後もお客さまに感動していただけるよう、オンリーワンの価値を持った商品を開発していきたいと思います。

（株）ポーラ 商品企画部
B.Aブランドマネージャー
二宮 恭子さん

ミステリーショッパー＊ 3年連続1位ショップチーフ

東京の真ん中でも、常にお客さまの心が癒される空間でありたい。

お客さまが何を求めているのか、常に考え、それに応える接客を心掛けています。商品だけのつながりではなく、コミュニケーションによって心からおもてなしすることで、お客さまにオルビスと長い関係を築いていただきたいと思っています。

オルビスは、お客さまにとって一緒にいて、身近にあって心地よいブランドでありたい――さりげなさのなかに綿密さと心のこもった接客を常に心掛け、お客さまに笑顔で帰っていただく、そんなショップであり続けたいです。

＊商業施設などが実施する覆面調査員による顧客満足度の調査

オルビス（株）東京駅八重洲地下街店チーフ
野町 陽子さん

2010年度売上No.1 営業支店長

これからもポーラの一員であることに誇りをもち、さらに多くの出会いを。

妻・母・嫁、そして一人の女性として歳月を重ねてきました。ポーラの一員となってからはそれまで以上に、「人のためにできることを精一杯に」と考え、お客さま、仕事仲間などとの出会いを大切に、常に自分らしく、そして頼りにされる存在であることに自らの喜びを見出してきました。この数年「ポーラ ザ ビューティ」という新しい形態の店舗を広げるにつれ、私たち自身もポーラの限りない大きな可能性や役割を感じています。今回、上場の知らせに、改めて私たちポーラが社会の役に立つにはと考え、「全力で女性のキレイをお手伝いすること」は世の中を明るく元気にすることなのだとの思いに至り、一層のやりがいを感じています。

（株）ポーラ 北関東エリア
営業支店長
本間 幸江さん

POLA

居座るメラニンに、白の一撃。部分用美白美容液「クリアセラム」。

ずっと肌に留まる「居座るシミ*1」に着目した部分用美白美容液。
美白複合成分ルシノールQL*2やC-RNA（クリア）エキス*3などの成分を
効果的に配合。
負のメラニン連鎖を断ち切ります。

*1 メラニンが常に生み出されている状態。

*2 美白成分ルシノール®、美白成分ビタミンC誘導体、保湿成分ショウキョウエキスをブレンドしたポーラオリジナル美白複合成分（ルシノール=4-n-ブチルレゾルシノール）

*3 植物抽出複合保湿成分（桃葉エキス、スターフルーツ葉エキス）

ホワイトショット クリアセラム【医薬部外品】
レギュラーサイズ 20g 税込 ¥12,600
ジュニアサイズ 10g 税込 ¥6,825

ポーラのお店で
いっしょに、美白体験

詳細は 0120-117111
www.pola.co.jp
いっしょに体験 検索

キャンペーン実施中!

サンプル＆美白ブック
プレゼント!

※数に限りがございます。

ORBIS

100％オイルカット
深く、濃く、長くうるおう。
新アクアフォース、誕生。

お肌のうるおいに大切なのは、角層全体の「水密度*」。
新生アクアフォースは、細胞間のすきまを埋めて、
角層一層一層にまでしっかり水をプールする貯水肌へと
導き、うるおいのあるすこやかな肌に保ちます。

* 角層の単位体積当たりの水分量。

アクアフォースマイルドウォッシュ	120g	税込	¥1,360
アクアフォースローション	180mL	税込	¥1,570
アクアフォースモイスチャー	50g	税込	¥1,780

新アクアフォースを早くも試した方の“声”

“浸透力が変わりました。
グングン肌に
吸い込まれて**うるおいが**
ギュッと入る感じ。”

季節の変わり目に影響される
30代前半
不安定肌さん

“**「軽い使用感」**
「刺激の少なさ」
の美点はそのままに、
よりうるおいが実感できます。”

使用歴11年、肌悩みのない
20代後半
普通肌さん

“肌の内部に水分が
蓄えられている感じ。
化粧水ひとつで
こんなに違うんだ、
と気付かされました。”

乾燥も皮脂も気になる
20代後半
混合肌さん

CM
放映中!

連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2009年12月31日	当連結会計年度 2010年12月31日	増減額 当期末−前期末
資産の部			
流動資産 1	116,055	107,230	△ 8,824
固定資産	65,854	80,541	14,686
有形固定資産	50,892	51,651	758
無形固定資産	4,539	4,140	△ 399
投資その他の資産 1	10,422	24,750	14,328
資産合計	181,909	187,771	5,862
負債の部			
流動負債 1	29,896	23,623	△ 6,272
固定負債	11,123	11,044	△ 79
負債合計	41,019	34,667	△ 6,352
純資産の部			
株主資本	140,429	153,265	12,836
資本金	10,000	10,000	—
資本剰余金 2	203,036	90,718	△ 112,318
利益剰余金	48,685	54,746	6,060
自己株式 2	△ 121,293	△ 2,199	119,093
評価・換算差額等	287	△ 264	△ 551
少数株主持分	173	103	△ 70
純資産合計	140,890	153,104	12,214
負債純資産合計	181,909	187,771	5,862

POINT 1 流動資産・投資その他の資産／流動負債

営業活動により獲得した資金を借入金返済に充てるとともに、安全性の高い長期債での運用を開始しました。その結果、流動資産は8,824百万円減少し、投資その他の資産が14,328百万円増加しました。
また、東京証券取引所市場第一部に上場し、総額6,775百万円の資金調達を実施しております。

POINT 2 資本剰余金・自己株式

自己株式の消却ならびに処分の実施により資本剰余金が112,318百万円、自己株式が119,093百万円減少しました。

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 自 2009年1月1日 至 2009年12月31日	当連結会計年度 自 2010年1月1日 至 2010年12月31日	増減額 当期−前期
売上高 3	162,332	165,253	2,920
営業利益 4	9,706	12,270	2,564
経常利益	10,372	12,247	1,875
特別利益 5	105	1,327	1,221
特別損失 5	2,021	1,544	△ 477
税金等調整前 当期純利益	8,456	12,030	3,574
当期純利益 6	4,059	7,086	3,027

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 自 2009年1月1日 至 2009年12月31日	当連結会計年度 自 2010年1月1日 至 2010年12月31日	増減額 当期−前期
営業活動による キャッシュ・フロー	12,530	17,906	5,376
投資活動による キャッシュ・フロー 7	△ 4,374	△ 40,367	△ 35,992
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,125	△ 2,789	△ 1,664
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 15	△ 60	△ 45
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	7,014	△ 25,310	△ 32,324
現金及び現金同等物の 期首残高	61,803	68,817	7,014
現金及び現金同等物の 期末残高	68,817	43,507	△ 25,310

POINT 3 売上高

基幹ブランド（ポーラ・オルビス）の好調により、全社で2,920百万円の売上増加（前期比1.8%増）となりました。

POINT 4 営業利益

売上高の増加に加えて販売手数料、人件費の抑制などにより2,564百万円の増加（前期比26.4%増）となりました。

POINT 5 特別利益・特別損失

当社グループ不動産物件（静岡）が地域再開発により収用され、会計処理上、特別利益517百万円、特別損失517百万円が発生しております。

POINT 6 当期純利益

上場により特定同族会社に対する留保金課税が適用除外になり、法人税が減少し、3,027百万円の増加（前期比74.6%増）となりました。

POINT 7 投資活動による キャッシュ・フロー

化粧品事業で3,716百万円、不動産事業で2,249百万円の設備投資を実施しました。

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

会社概要（2010年12月31日現在）

商　　号	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス POLA ORBIS HOLDINGS INC.
設　　立	2006年9月29日
資 本 金	100億円
従業員数	（連結）3,773名　（単体）83名 *従業員数は就業人員数（派遣出向者を除き、受入出向者を含む）
事業内容	グループ全体の経営管理
本店所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田二丁目2番3号 （実際の業務は東京都中央区銀座一丁目7番7号で行っております）

役員一覧

代表取締役社長	鈴木 郷史
常務取締役	三浦 卓士
取締役	藤井 彰
取締役	久米 直喜
取締役	鈴木 弘樹
取締役	岩﨑 泰夫
取締役	髙谷 成夫
監査役（常勤）	杉本 修
社外監査役	佐藤 明夫
社外監査役	中村 元彦

主なグループ企業

化粧品事業/ファッション事業

株式会社ポーラ
オルビス株式会社

化粧品事業/研究・生産

ポーラ化成工業株式会社

化粧品事業

株式会社pdc
株式会社フューチャーラボ
株式会社オルラーヌジャポン
株式会社decencia
株式会社ACRO

医薬品事業

株式会社ポーラファルマ
株式会社科薬

不動産・その他の事業

株式会社ピーオーリアルエステート
株式会社ピーオーメディアサービス
株式会社ピーオーテクノサービス

株式の状況 （2010年12月31日現在）

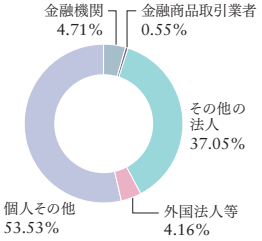
発行可能株式総数　200,000,000株

発行済株式の総数　57,284,039株

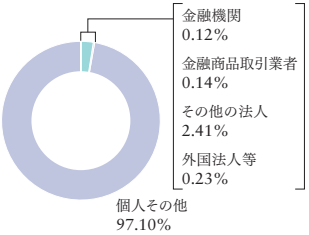
株　主　数　18,948名

株式の分布状況

株式数比率



株主数比率



大株主（上位10位）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
公益財団法人ポーラ美術振興財団	19,654	35.6
鈴木　郷史	12,788	23.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,245	2.3
ポーラ・オルビスグループ従業員持株会	1,239	2.2
中村　直子	1,192	2.2
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ノーザン トラスト ガンジー アイリッシュ クライアンツ	590	1.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	573	1.0
鈴木　勝二	527	1.0
バークレイズ キャピタル セキュリティーズ ロンドン ケイマン クライアンツ	429	0.8
中村　宏美	250	0.5

（注）1. 所有株式数は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 上記のほか当社所有の自己株式2,000千株があります。
3. 持株比率は自己株式を控除した発行済株式の総数で算出しております。

株主メモ

事業年度：毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会：毎年3月

定時株主総会の議決権の基準日：12月31日

　その他必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日

剰余金の期末配当の基準日：12月31日

中間配当を行うときの基準日：　6月30日

1単元の株式数：100株

証券コード：4927

株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所：東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法：電子公告によって行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

公告掲載アドレス：http://www.po-holdings.co.jp/

上場証券取引所：東京証券取引所 市場第一部

■ご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の変更などについては、お取引のある証券会社にお問い合わせください。

■未払い配当金のお支払いや株式事務に関する一般的なお問い合わせは、下記の当社株式名簿管理人にお申し出ください。

三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL：0120-232-711（通話料無料）

2010年株主優待のご案内

2010年12月31日現在の当社株主名簿に記載された当社株式1単元（100株）以上を保有されている株主さまを対象に、上場記念株主優待として、ポーラ「B.A ザ ローション スターターサイズ」とB.Aスキンケア品のサンプルセットを贈呈いたします。
5月中旬～下旬のお届けを予定しております。

*2011年の内容につきましては、決定次第、発表いたします。

B.Aシリーズとは… ポーラの主力スキンケアシリーズ「B.A」は、いち早く「糖化」というメカニズムに着目し、エイジングケアの新時代を切り開いた最高峰シリーズです。豊潤なハリ感、つややかな透明感で、2010年ベストコスメ14冠の実力です。

<優待内容>	B.A ザ ローション スターターサイズ（現品）	60mL
	B.A ザ クレンジングクリーム	20g
	B.A ザ ウォッシュ	20g
	B.A ザ ミルク	15mL
	B.A ザ クリーム	3g

ポーラ・オルビスグループでは、決算に関するお知らせなど、
詳しい情報をホームページにてご紹介しています。
是非ご覧ください。

www.po-holdings.co.jp/ または ポーラ・オルビス 検索

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

本誌に関するお問い合わせ先

〒104-0061 東京都中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル
TEL 03-3563-5517（代表）

VEGETABLE OIL INK

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC™ C002194